

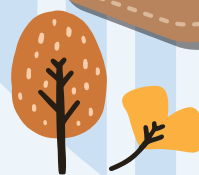


NPO法人 グランマール

臨床心理士等の専門家による

2025年
秋号
Vol.2

子育てコラム



「NPO法人グランマール」は、子育て支援のNPOです。臨床心理士等の専門性をもとに活動をしています。

賛同企業からの寄付金を活用して、専門相談員の「子育てコラム」を年3回、順番にお届けします。子育てのヒントにいただけると嬉しいです。



NPO法人 グランマール



npochiiki@yahoo.co.jp



<https://granmar-npo.com>



@NPO.GRANMAR

令和の非行少年はどこにいった？

先日、ある子育て研修会で参加者の方から質問がありました。「最近、非行少年を見ない気がする。令和に非行少年は存在しないのか？」他の参加者も、そういえばと頷いています。確かに、金髪に短ランのような姿で、コンビニの前に座り込むような少年たちを目にすることはなくなったように思います。しかし、令和6年中の刑法犯少年の検挙人員は2万人を超え、戦後最少であった令和3年から3年連続で増加しています。また、飲酒、喫煙、深夜はいかい等で補導された不良行為少年は、令和4年まで11年連続で減少していましたが、令和5年に増加に転じており、決して非行や不良行為に関わる少年の数が減っているわけではないようです。

約20年前、心理職として働き始めた私は警察の少年課で非行少年や不良行為少年と日々関わっていました。A県では、高校に行かなかった（もしくは様々な理由で行けなかった）少年が、高校総体の会場に現れて騒ぎを起こすことで知られており、刺繍を施した特攻服を着た彼らはひととき目立つ存在として扱われていました。しかし、時代の流れと共にその数も減りつつあったある年、2人の少年と出会いました。「今年はもう特攻服の子はいないかもしれないね」と先輩と話しながら歩いていた会場の片隅に、少し懐かしい感じの刺繍ランを着た彼らが煙草を吸いながら座り込んでいたのです。声をかけると「帰れ!」「誰や!」と声を荒げ、煙草の火を消すように促しても向こうへ行けと怒鳴ります。すると先輩がニコニコしながら「この刺繍ランすごいね。高かったでしょう。みんな高校行ってるけど、あなたたちは働いて独り立ちしてるのね」と声をかけたのです。途端に彼らの表情がみるみる緩み「俺たちはあいつら（高校生たち）みたいな子どもとは違う」「高校なんて行っても意味がない」と話し始めたのです。仕事が大変であること、先輩の紹介なので簡単に辞められないこと、この日のために先輩に刺繍ランを借りたこと…。意外におしゃべりな彼らの話からは、自分たちはこんな豪華な姿ができる大人であるという自負、そしてまだ子ども（学生）でいられる元クラスメイトたちへの羨ましい気持ちが伺えました。高校に行かず、高校を否定しながらも、刺繍ラン姿の自分を見て欲しくて、学校に近い場所で居場所を探そうとする彼らの姿を目にし「誰だって居場所が欲しいよなあ」と感じた出来事でした。

少年非行の原因として保護者の養育態度、学校生活への不適応、本人の性格など多様な要因が指摘されていますが、それは今も昔も変わらないように思います。ただ、子どもを取り巻く環境が目まぐるしく変化したことで、少年の起こす事件や不適応行動がより不可解なものとして扱われているのかもしれませんが、今も昔も変わらず、あなたのことをしっかり見ているよという眼差し、そしてその子の居場所を大切にすることは非行防止だけでなく子育ての柱だと思っています。

令和にはいわゆる「昔ながらの非行少年」はいないのかもしれませんが、ですが、彼らの葛藤は様々な形を変えながら今も生き続けているように感じます。子どもの気持ちを理解することは容易なことではないけれど、少しでもそこに寄り添っていける存在でありたいと願っています。（プライバシー保護のため事例を一部改変しています）

【参考】警察庁生活安全局人身安全・少年課HP https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/syonen/pdf_r6_syonenhikoujyokyo.pdf
科学警察研究所HP <https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/syonen/signal2025mihiraki.pdf>

NPO法人グランマールの活動理念に賛同していただき、継続して寄付をいただいています。

- ・富士産業株式会社
- ・大倉工業株式会社
- ・四国化成ホールディングス株式会社
- ・株式会社伏見製薬所
- ・琴参バス株式会社

香川県 NPO 基金（団体指定寄附）も活用しています。



香川短期大学
子ども学科第Ⅲ部 准教授

臨床心理士・公認心理師

たなか あや
田中 彩